

地域文化の創造とふれあいづくりを進めます



子ども流鏑馬（平成25年1月）

5年後のめざす姿

- 様々な分野の文化活動団体が、区内で活発に活動しています。
- 地域の伝統・文化行事に子どもから高齢者まで幅広い世代の人が参加しています。

これまでの成果

- 計画策定当初、区民の文化に対する意識は高く、文化活動に対する支援や地域のふれあいづくりが必要であるという課題が認識されていました。しかし、それらに総合的に取り組むための文化施策の指針は区ではまだ策定されていませんでした。
- 区は、平成22年度に「大田区地域文化振興プラン」を策定し、区民や文化団体、企業を含めた事業者*、区などの連携と、それぞれの役割を明確にした上で、地域文化振興に対する区の基本方向性を示しました。策定後、区はプランに基づき、特別出張所における地域の歴史講座の実施や大田区文化振興協会によるアマチュア音楽祭の開催など、様々な文化振興施策を展開してきました。
- 区報やホームページなどにより広報活動に力を入れてきた結果、平成24年度末現在、区民活動情報サイトに登録されている文化・芸術に関する団体数は21年度に比べて3割増えたほか*1、文化活動に参加する団体や区民は年々増え、活動も活発になってきました。
- 区民が身近に文化に親しめる機会を提供するとともに、文化施設の公民連携したネットワーク化への取り組みを始めました。民間ミュージアムや伝統文化継承者と協働*して展示会を行ったほか、地域に点在するアート*1ギャラリーの情報を収集し、ミュージアムマップを作成、情報発信してきました。

*1 平成21年度は、大田区区民活動情報サイトを開設する前の、大田区区民活動団体データベースの登録数

現状と課題

- 未来プラン策定から5年経過した現在、区民活動団体の文化・芸術に対する意識は依然として高く、活動も活発化してきていることがうかがわれます。
- 文化活動に対する区民ニーズ*が高まる中で、自主的に文化活動を行う区民の活動場所や発表の場をさらに充実させていくことが求められています。
- 区内には地域に根ざした伝統や、地域にゆかりのある歴史、文化、人物といった文化資源が数多く存在しています。一方、それらのポテンシャルを十分に発揮できていないのが現状です。潜在する文化資源を掘り起こし、それらの情報と魅力を効果的に発信し、区民が共有しながら、大田区らしい地域文化を創造していくことが大きな課題です。地域の文化資源に関する資料やデータの収集及び保存継承を行うとともに、効果的に情報発信するための環境整備を進めていくことが必要です。
- 国内外の様々な人々が交流できる場や取り組みを充実させていくことが求められています。
- 大田区地域文化振興プランで、公益財団法人大田区文化振興協会は地域文化を振興するうえで、区のパートナーであると位置づけています。今後は区と文化振興協会との連携を深めて、一層力強く、総合的に地域文化の創造とふれあいづくりを推進していくことが必要です。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
大田区の主な文化関連施設の利用・入館者数(延べ、万人)	144万人 (平成19年度)	162万人	162万人 (平成24年度)	174万人
大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリー*2に出場・出品した人数(延べ、人)	3,203人 (平成20年度) 参考数値*	4,000人 参考数値*	12,657人 (平成25年10月)	13,600人

★参考数値は、文化センターまつりを含んでいない数値です。

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

地域文化の創造とふれあいづくりを進めます

1 区民の自主的な文化活動の支援・活性化

- 活動・発表・創作の場の提供
 - 多様な区民活動団体の支援
 - ↳ ころば大森等での団体育成や助成支援、特別出張所を基とした地域文化活動の支援など
- 地域文化情報の収集・発信

2 大田区らしい地域文化の創造

- 地域の歴史や伝統文化の継承・発信
- 新しい地域文化活動への支援

3 国内外の交流から生まれる多様な文化の育成

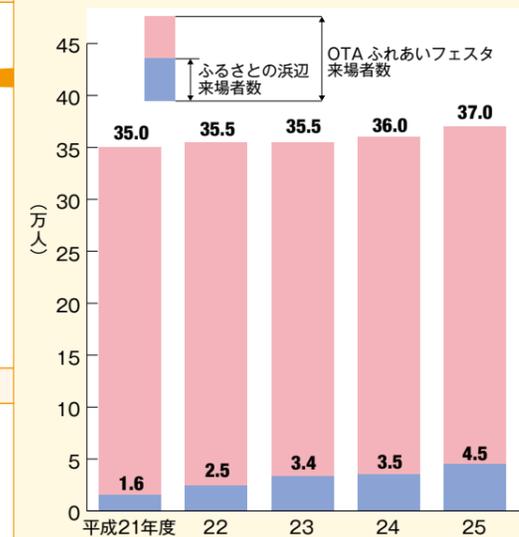
- 文化交流事業の充実
 - ↳ OTAふれあいフェスタ*3、多文化交流会、多文化共生*推進センターでの事業などの実施
- 多様な文化を鑑賞する機会、多様な文化活動に参加する機会の充実
 - ↳ 大田区民ホール・アプリコ等文化施設で鑑賞する場の提供、OTAふれあいフェスタ*での国際交流の充実

4 推進体制の整備

- 地域文化振興プランの改定

参考データ

▶ OTAふれあいフェスタ来場者数(うち、ふるさとの浜辺来場者数*)



出典：大田区調べ
★平成24年度から国際交流イベントをふるさとの浜辺で実施

*1 アート
生活に潤いを与え、また人の感性を豊かにする芸術的要素。

*2 区民ギャラリー
区民に文化活動の場を提供し、文化の香り豊かなまちづくりの拠点とするため、区民の制作した絵画、写真、書道などの作品を特別出張所などに展示するスペースを確保する事業。

*3 OTAふれあいフェスタ
平和島周辺(平和の森公園、平和島公園、大森ふるさとの浜辺公園、平和島ポートレース場)を会場に、区民が集い、楽しみ、ふれあえる機会を創り出し、区民の連帯意識を醸成するために開催している催し。

施策の方向性と主な事業

1 区民の自主的な文化活動の支援・活性化

区民が自主的に行っている文化活動に対して、活動・発表・創作の場の提供や多様な区民活動団体への支援・相談を行うとともに、活動内容について、各種情報紙などを通じて効果的に情報発信し、活性化を図ります。

主な事業

■活動・発表・創作の場の提供

既存の公的施設を含め、新たな区施設の活用方法を検討するとともに、民間の空き店舗・工場なども視野に入れ、活動場所を確保します。大田区文化振興協会と連携するなど、新たなイベント等の実施により、発表の場を提供します。区施設の会議室や多目的室などの構造・備品を含め、文化活動団体が利用しやすい環境を整えます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
新たな活動場所の確保	→	→	→	→	→	→
発表の場の提供	→	→	→	→	→	→
文化団体が活動しやすい環境の整備	→	→	→	→	→	→

■地域文化情報の収集・発信

大田区文化振興協会やNPO*団体などと連携し、区内で自主的に活動している文化活動団体に関する情報を収集するとともに、それらの情報をホームページや区報などで効果的に発信します。特別出張所を基点とした地域情報紙などにより、文化情報を収集・発信します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
区内で活動している文化団体の情報の収集・発信	→	→	→	→	→	→
特別出張所を基点とした地域情報紙での文化情報の収集・発信	→	→	→	→	→	→

2 大田区らしい地域文化の創造

既存の大田区の地域文化資源について収集、保存、発信を行うとともに、地域に潜在する文化資源を発掘し、ネットワーク化を図ることなどにより、大田区らしい地域文化を創造します。

主な事業

■地域の歴史や伝統文化の継承・発信

区と大田区文化振興協会との連携・協力を強化し、大田区に関する資料・出版物の収集・保存・発信を行います。鳳凰閣*（旧清明文庫）の修復及び勝海舟に関する資料などの収集・展示や、大森麦わら細工の体験学習、六郷用水*の見学会などを実施して、地域文化を発信します。実施の際は、図書館機能との連携を図るとともに、特別出張所に地域情報を発信するコーナーを設けるなど、地域から文化を発信します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
地域文化資源の活用	→	→	→	→	→	→
鳳凰閣*の修復及び勝海舟に関する資料などの収集・展示(再掲)	→	→	→	→	→	→
地域の歴史や伝統文化の学習等	→	→	→	→	→	→

■新しい地域文化活動への支援

民間ミュージアムや伝統文化継承者、アートギャラリーなど地域に潜在する文化資源の情報収集及びネットワーク化を図り、ミュージアムマップなどで効果的に情報を発信します。展示会などを開催し、区民が身近で体験できる場の提供や、興味を持った人が各施設を見学・体験するための回遊性を高めるなど、地域文化活動を活性化します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
民間ミュージアムや伝統文化継承者、アートギャラリーなどのネットワーク化と情報発信	→	→	→	→	→	→
展示会の開催	→	→	→	→	→	→



勝海舟の精神を基本に置きながら、図書の収集閲覧、学習、人材育成としての講義などを行う場として設置された鳳凰閣(旧清明文庫)



江戸時代の中頃から大森で作られ、東海道を歩き交う旅人に親しまれた大森麦わら細工(上:編み細工、下:張り細工)

3 国内外の交流から生まれる多様な文化の育成

OTAふれあいフェスタ*や友好都市ふれあい広場、多文化交流会など、区民のふれあい、文化交流の場を創出します。大田区民ホール・アプリコ、大田区民プラザ、大田文化の森*で良質な音楽や演劇などを鑑賞する機会を区民に提供します。

4 推進体制の整備

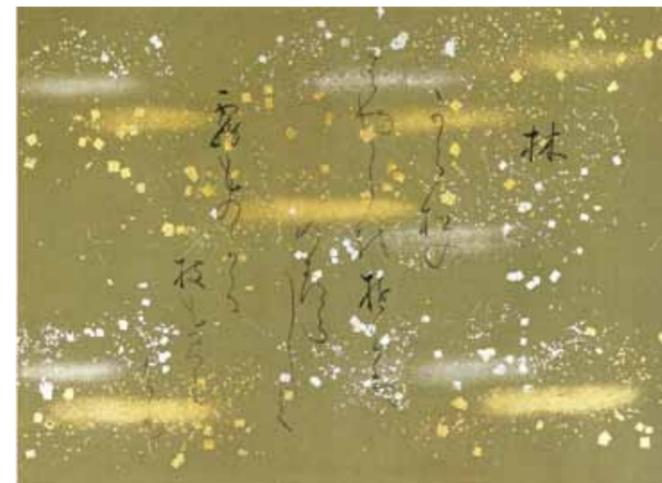
平成23年3月に策定した「大田区地域文化振興プラン」に基づく取り組み成果を検証し、策定後に生じた区の地域文化振興施策を取り巻く状況の変化に対応するため、プランを改定します。地域文化を推進する区役所関係部局間の連携を強化するとともに、区と大田区文化振興協会との連携・協力を進めます。

主な事業

■ 地域文化振興プランの改定

地域文化振興プランの改定を行い、区役所関係部局間及び区と大田区文化振興協会との連携・協力体制を構築し、推進体制を強化します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
地域文化振興プランの改定・推進	検証・改定	推進		意識調査・検証	改定	継続
区役所関係部局及び大田区文化振興協会との連携・協力						継続



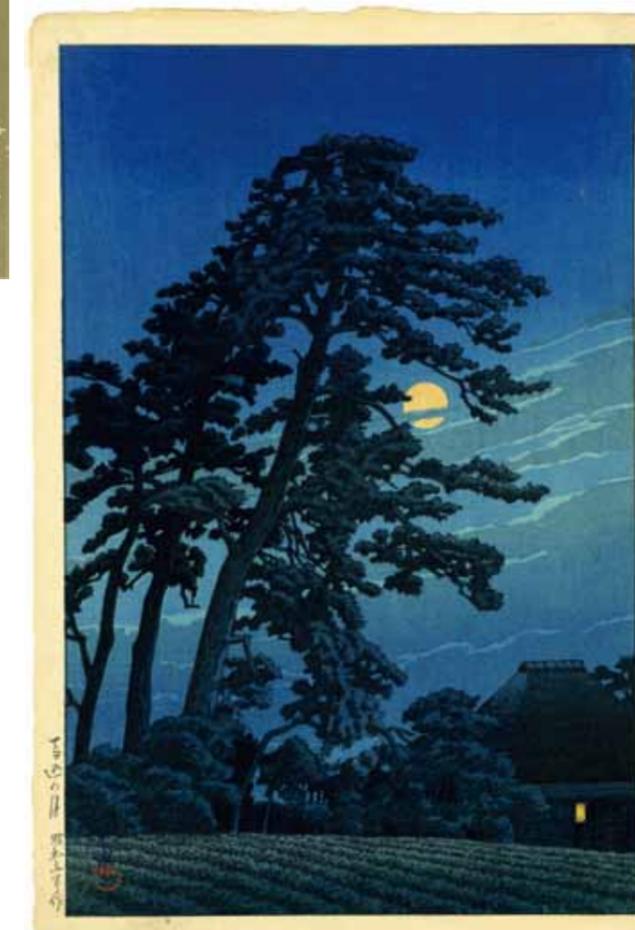
熊谷恒子「御歌(林)(皇太后陛下下)」
1983年/25×35cm/大田区立熊谷恒子記念館蔵

御歌(林)(皇太后陛下下)
制作年 昭和五八年(一九八三)
積文(しづまふみ)

林(はやし) 可(か)ら松(しょう)の 者(もの)やし越(こ)え遊(あそ)び介(けい)盤(ばん)
め都(みやこ)ら 霧(きり)毛(も)の可(か)し久(く)
枝(えだ)毛(も)見(み)え 介(けい)利(り)

積文(しづまふみ) 内容(りやく)および解説(かいせつ)

皇太后陛下(こうたうていげん)下(げ) (一九〇三—二〇〇〇)。
香淳皇后(かうじゆんこうごう)、昭和天皇(しやうわてんかう)の皇后(こうごう)。
名(な)は良子(りやうこ)。昭和二九年(しやうわにじゅうにゅうねん)歌会始(かかいはじめ)。
(題(だい) 林(はやし))にて詠(よ)まれた歌(うた)。
「から松(しょう)の 林(はやし)をゆけば めずらしく 霧(きり)深(ふか)のかかる 枝(えだ)もみえけり」を題材(たいざい)とした作品(さくひん)。



川瀬巴水「馬達の月」/1930年/365×242cm
大田区立郷土博物館蔵

川端龍子「渦潮」/1956年/241×725cm/大田区龍子記念館蔵

